

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和5年6月23日

評価対象事業		評価者	保育課長 鈴木 智大	
こども-13	公立保育所管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	保育課
重点事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	こども支援課
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	子育て家庭への支援

1 事業の目的

対象	両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童
意図	両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童の保育を行うため。
効果	公立保育所の効率的な運用と維持管理を行うとともに、待機児童対策に取り組む。

2 令和4年(2022年)度を実施した事業の概要

- 公立保育所の保育士、給食調理員等の賃金を執行した。
- 公立保育所の給食に係る経費を執行した。
- 岡本保育園新園舎を賃借した。
- その他公立保育所の維持管理・運営に係る経費を執行した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	公立保育所管理運営事務	公立保育園の管理運営	-	/			
				157,289	/ 181,464	213,296	
02	公立保育所給食事務	公立保育園の給食業務委託	栄養士による栄養管理会議実施回数(回)	60	/ 60	60	
				129,931	/ 134,296	149,177	
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	11,478	/ 10,348	10,348	
			地方債	/			
			その他特定財源	98,689	/ 111,524	114,693	
			一般財源	177,053	/ 193,888	237,432	
			事業費の合計(千円)	287,220	/ 315,760	362,473	
			人件費(千円)	843,260		860,005	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	88.5	85.0	85.0	85.0		
会計年度任用職員	164.0	149.0	152.0	152.0		

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	公立保育所管理運営事務	経常的な業務であり、評価することが困難であるため、指標は設定しなかった。	安全面、衛生面において適正に管理運営することで、安心して子育てができる環境が維持されることから、多様化・複雑化する子育てニーズへの対策が充実することに寄与する。	
02	公立保育所給食事務	公立保育所で児童の保育を行う際に必要な給食事務に関し、栄養面から子どもたちの育ちに寄与することを図り、栄養士による栄養管理会議を目標どおり実施した。	公立保育所における給食提供によって栄養面の維持により子どもたちの育ちに繋がることができる環境が維持されることから、多様化・複雑化する子育てニーズへの対策が充実することに寄与する。	安全・安心な食材の提供のため、オーガニック食材等の調達・提供について検討する。
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

### (2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-9 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、実施事業に協働はなじまない
			協働実施済の場合のパートナー

### (3) 総合評価

※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】  拡充  改善・変更  現状維持  縮小  休止・廃止  
 公立保育所の効率的な運用と維持管理を行っていく中で、提供する食材について検討を進めていく。腰越保育園を公私連携型保育所として民間事業者へ事業移管することについては着実に進めて行く。

**【参考】**

**◎事業実施に係る主な指標**

指標(単位)	栄養士による栄養管理会議実施回数(回)						単位	回
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
公立保育所で児童の保育を行う際に必要な給食事務に関し、栄養士による栄養管理会議を定期的実施することで、栄養面から子どもたちの育ちに寄与することが期待できるため。	目標値	-	60	60	60	60	60	
	実績値	60	60	60				
	達成率		100.0%	100.0%				

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

**◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)**

比較事項	待機児童数							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	三浦市	横浜市	川崎市	横須賀市
他市実績	28人	3人	5人	6人	0人	10人	0人	10人

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	他市に比べ待機児童数が多く、引き続き待機児童の減少に努める必要がある。
--------------------------	-------------------------------------